

第33号(2006年度)

# 金沢国際親善ニュース



金沢市民芸術村ジュニア・ジャズ・オーケストラ JAZZ-21 バツファロー市派遣事業

金沢市姉妹都市交流委員会

# 金沢市&大連市 友好交流都市へ！

## 新しい交流の歴史の幕開け 中国 大連市と友好交流合意書を調印

2006年11月24日、これまで本市との間で、主に大連大学との交流や教育分野を中心に交流を続けてきた大連市から、夏徳仁市長を団長とする総勢24名の代表団が来沢しました。一行は、東京・大阪・名古屋等日本各地で、経済投資セミナーや、経済交流の推進、スポーツ大会の開催等を通じて大連市を紹介するイベント「大連ウィーク」に出席のため来日していた日程の最後に来沢したものであり、金沢市庁舎において、夏市長と山出保金沢市長との間で「両市の友好交流と協力に関する合意書」が取り交わされました。この合意書は、これまでの教育分野における交流の成果を高く評価し今後とも積極的な推進を確認すると同時に、今後はとりわけ両市の未来を担う青少年による相互交流の展開、都市計画・農業・産業経済・行政・医療衛生・芸術文化・スポーツ・観光等、まちづくり全般に亘る幅広い分野での相互交流と協力関係の拡充を謳ったものでした。

また同日午後には、石川県地場産業振興センターにおいて、夏市長による特別記念講演会が催されました。「北東アジアにおける重要な国際的中心都市へ邁進する大連市」と題する夏市長の講演に、会場を埋め尽くした約350人の聴衆は、このたび金沢市と新たに友好提携を調印した大連市に対する認識をより一層深めた模様でした。また夏市長は、講演後、参加者から寄せられた質問に答える形で、このたびの日本での「大連ウィーク」の大成功を受け、2007年5月、大連市で毎年開催されている「アアジア祭」に合わせて、日本の主要都市を紹介する「日本ウィーク」を開催し、その中で、金沢市単独のイベントである「金沢デー」を実施し、金沢の伝統文化、工芸、観光等を紹介したいとの意向を示しました。



また、この日には、夏市長一行代表団の訪問に合わせて、董春月大連市教育局副局長を団長に、大連市内の小中学生29名を含む37名の大連市子ども交流団も金沢を訪れ、2004年から大連市内の小中学校と姉妹校提携を結んでいる市立明成小学校と、市立城南中学校を訪問し、両校の児童・生徒らと歌や踊りを通して親睦を深め、子ども同士での末永い友情を誓い合いました。大連市からの子どもたちは、同日夜、大連市に縁のある市民と共に夏市長一行をお迎えして盛大に催された歓迎レセプションの席上でも、可愛らしい演舞を披露し、会場から盛大な拍手喝采を浴びると同時に、和やかな宴席に花を添えました。

夏市長一行は翌日、今回日本の「大連ウィーク」活動の締めくくりでの有意義な成果を胸に、大連へと帰国していき

## 会議・イベント

### 第2回「日墨文化サミット」金沢開催

日墨文化サミットは、2004年9月小泉首相(当時)とフォックス・メキシコ大統領(当時)の合意に基づき、日墨両国の文化交流を推進するために開催されることが決定したもので、第一回目は2005年9月、メキシコ市において実施されました。金沢市は、第二回目の会議の開催地として選出され、7月20日から同21日にかけて、両国の文化に関する有識者らを迎え、日本で初めての日墨文化サミットを開催しました。

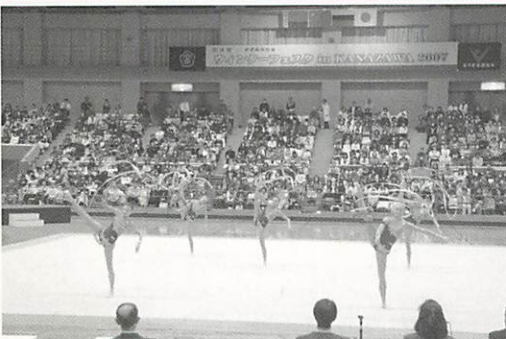
また、本市での開催に際しては、両国の交流推進を支援するとともに、新たな文化創造のための機会としていくことを目的とし、同サミットの参加者と市民を交え「市民フォーラム」も行いました。



#### (開催概要)

参加者	日本側 メキシコ側	小倉和夫座長(国際交流基金理事)他8名 サリ・ベルムデス座長(国家芸術文化庁(CONACULTA)総裁)他8名
日程	7/20 終日 7/21 午前 午後	「日墨文化サミット」全体セッション(旧中村邸2F) メインテーマ「グローバル時代における日本とメキシコの役割」 市内視察(兼六園・金沢城など) 「日墨文化サミット」市民フォーラム(シアター21) テーマ「グローバル時代における伝統と現代」
主催	日本側 メキシコ側	外務省、国際交流基金、金沢市 外務省、国家芸術文化庁(CONACULTA)、メキシコ大使館

### 冬の金沢に世界トップレベルの新体操選手が集結！！ —新体操ウィンターフェスタ in KANAZAWA 2007—



世界の一流の新体操選手を間近で見られる「新体操ウィンターフェスタ in KANAZAWA」が、今年度も2007年2月4日、金沢市総合体育館において開催されました。

本年は、海外からベラルーシ・ナショナルチーム(個人・団体)、中国のジュニア・ナショナル強化選手、姉妹都市ロシア・イルクーツク市選手団(個人)そして国内から全日本選手団(個人・団体)が来沢、そして地元金沢市選手団が加わり開催されました。

今回は、昨年11月のワールドカップ・ファイナルで、個人種目別2位となったベラルーシのインナ・ジューコワ選手、同団体優勝の団体ナショナルチームが特に注目を集めたほか、全日本選手権6連覇中の村田由香里選手をはじめ、同2～4位の全日本個人選手、北京五輪を目指す全日本選抜団体チームや中国選手らが参加し、それぞれ素晴らしい演技を見せ、演技会の終了後も来場者からの大きな拍手が鳴り止まないほどでした。また、開会式直後には、地元の金沢選手団約80名が、スケールの大きな集団演技を披露し、演技会に華を添えました。

なお、演技会に先立ち、海外からの選手団は、金沢市長への表敬訪問を行ったほか、「ふれあい交流事業」として市内小学校にも訪問し、児童らと交流を通じて、教育現場における異文化交流にも一役買ってくれました。

#### おも について 主な日程

2月2日(金)	金沢市長表敬訪問 市内小学校訪問 ・菊川町小学校(イルクーツク市団) ・犀川小学校(ベラルーシ団) ・湯涌小学校(中国団)
2月3日(土)	公開練習
2月4日(日)	新体操演技会

## 地域の国際化

### 国際交流まつり

今年で14回目を迎えた「国際交流まつり2006」は、9月30日、10月1日に市庁舎前広場で開催されました。今年、「コラボレーション(協働)」をコンセプトに、国際交流関係の参加団体と協働でまつりの総合受付を運営する「協働インフォメーションブース」や、例年のクイズラリーをパワーアップした「国際交流まつり検定2006」、日本文化やワークショップを体験できる「庁舎内体験プログラム」など新たな企画も生まれ、例年以上に会場全体が一体となって盛り上がりしました。

### 国際交流員の派遣等による国際理解講座

金沢市役所には、現在、アメリカ、韓国、ブラジル、ベルギーの4カ国の国際交流員が勤務しています。国際交流員は、(財)金沢国際交流財団主催によるイベントを通じて、各国の習慣や文化を紹介する講師として国際理解講座を開催したり、学校や市民団体からの依頼に応じた派遣事業を行っています。

その一部をご紹介します、以下のようなものがあります。  
 アメリカ：ケイティとアメリカのお菓子の家を作ろう！  
 韓国：韓国の伝統紙工芸で犬を作ろう！  
 ブラジル：家庭でできる！ブラジル・カーニバル料理  
 ベルギー：ベルギーのクリスマスのお菓子を作ろう！

国際交流員の講座については、金沢国際交流財団ホームページおよび新聞広報などで随時お知らせしていますので、興味のある方は是非ご参加ください。

また、国際交流員の派遣を希望される方も、金沢市国際文化課または(財)金沢国際交流財団までお気軽にお問い合わせください。



## 多文化共生事業

2007年3月1日現在、金沢市には、人口のおよそ1%、約4100人の外国人が暮らしています。グローバル化の進展により、今後の割合がさらに高まることが考えられ、様々な文化的背景を持つ市民と、共に暮らせるまちづくりを行う必要性が増してきています。金沢市では、(財)金沢国際交流財団を中心に国際交流のサポートとともに多文化共生社会の実現を目指す活動も進めています。

### 多文化共生に関する2006年度のおもな活動

#### ☆ 多文化の子どもたちについて考える事業

\* 多文化の子どもたち…国籍に関係なく育った環境によって複数の文化背景を持ちながら日本で暮らしている子どもたち

2006/6/11 「多文化の子どもたちについて語り合う茶話会」

2007/2/10 「多文化の子どもたちの未来について考える～日本語教室の現状から～」

#### ☆ 外国人市民の自立支援に関する事業

「わたし」がつくる！多文化共生かなざわプロジェクト

2007/1/14 講演会「多文化の隣人たちの声～多様化する金沢市民の現在～」

2007/1/21 「外国人のためのパソコン教室」

その他、同財団では、図書の出貸や生活情報などの情報提供事業、国際交流団体の活動支援及び市民ボランティアの登録も行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

### ～2007年度の主な事業計画より～

#### 「本町子どもスクエア」の開設

(財)金沢国際交流財団では、同事務局が入るリファール2階に「本町子どもスクエア」を開設します。開設後は読み聞かせ会や折紙教室、国際交流に関する児童の作品展など多彩な催しを開催します。

### 問い合わせ先

#### 金沢市国際文化課

〒920-8577 金沢市広坂1-1-1

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail bunshin@city.kanazawa.ishikawa.jp

#### (財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール2F

TEL 076-220-2522 FAX 076-220-2527

URL <http://www.kief.jp> E-mail kief@kief.jp

# 2006年4月～2007年3月 国際交流ダイアリー

## 春

- 4月 3日 韓国 円光大学女子ソフトボールチーム 来訪
- 4月 6日 韓国公務員 文化行政視察団 来訪
- 4月 12日 スペイン・サラマンカ大学日西センター 訪日研修団 来訪
- 4月 21日 韓国政府文化政策関係者訪問団 来訪
- 4月 24日 金沢市柔道協会 全州市訪問団 出発挨拶
- 4月 24日 韓国(社)韓紙文化振興院理事長 李 相七氏 来訪
- 5月 15日 水墨画北水会「蘇州水墨画交流の旅」訪問団 出発挨拶
- 5月 15日 石川ハイ友交流会設立記念友好交流団 出発挨拶
- 5月 19日 韓国 市道公務員教育院運営担当者海外研修団 来訪
- 5月 31日 ジョゼフ・キャロン駐日カナダ大使夫妻 来訪
- 6月 1日 水墨画北水会「蘇州水墨画交流の旅」訪問団 帰国挨拶
- 6月 9日 クリストフ・ブノー在日フランス大使館公使 来訪
- 6月 23日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 6月 29日 韓国 大統領諮問機関政策企画委員会教育文化分科委員一行 来訪



4月12日



5月31日

## 夏

- 7月 5日 米国ニューヨーク教育関係者 来訪
- 7月 6日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第7回韓国全州ソフトボール交流友好訪問団 出発挨拶
- 7月 19日 タイ・ナコンシータマラート県交流団 来訪
- 7月 21日 ジルダ・ル・リディック駐日フランス大使夫妻 来訪



7月19日

## 秋

- 9月 22日 韓国 仁川広域市延寿区立管弦楽団一行 来訪
- 9月 27日 金沢市出身 JICA ボランティア 出発挨拶
- 9月 29日 米国シアトル市エクスタイン中学校訪問 大徳中学校国際交流研修派遣団 出発挨拶
- 9月 29日 「国際交流まつり2006」出演 韓国 禮山郡文化訪問団 来訪
- 10月 2日 韓国 全州男性合唱団 来訪
- 10月 12日 蘇州市青年連合会代表団 来訪
- 10月 20日 ディルク ヤン・コップ在大使・神戸オランダ総領事 来訪
- 11月 16日 韓国 全州市伝統文化局視察団 来訪



9月29日

## 冬

- 12月 7日 蘇州日報社訪問団 来訪
- 12月 7日 エリーエリアフ・コーヘン 駐日イスラエル大使夫妻 来訪
- 12月 22日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 1月 30日 大連市遼寧師範大学訪問団 来訪
- 3月 23日 金沢市出身 JICA ボランティア 出発挨拶

# 姉妹都市・友好都市の紹介

## ゲント市 (ベルギー王国) Ghent, the Kingdom of Belgium

提携 1971年 (昭和46年)  
人口 23万人  
面積 156 km<sup>2</sup>



フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉋などの産業が発達した。1816年創立のゲント大学やゲント美術館のほか、多くの博物館や旧跡があり、中でも、鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

## 新しい友好都市

### 大連市 (中国)

Dalian, the People's Republic of China

提携 2006年 (平成18年)  
人口 590万人  
面積 12,570 km<sup>2</sup>



遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ、『ロマンの都』『北方の真珠』とも称えられる。ファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

## ナンシー市 (フランス共和国) Nancy, the French Republic

提携 1973年  
人口 10万人  
面積 15 km<sup>2</sup>



フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物の、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。現在は、学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や、音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場ほかの広場が世界遺産に指定されている。

## イルクーツク市 (ロシア連邦)

Irkutsk, the Russian Federation

提携 1967年 (昭和42年)  
人口 54万人  
面積 302 km<sup>2</sup>



バイカル湖 (世界遺産) の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達しているほか、高級毛皮製品などの伝統産業も盛ん。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

## 全州市 (大韓民国)

Jeonju, the Republic of Korea

提携 2002年(平成14年)

人口 62万人

面積 206 km<sup>2</sup>



「後百済」の都で、千年余の歴史を持つ古都で全羅北道の道都。国宝の豊南門や韓式家屋の保存地区など歴史遺産を数多く残している。周辺は豊かな穀倉地帯で、韓国の「食と文化の里」として知られ、王朝料理やビビンバップなどの食文化、伝統音楽パンソリに代表される国楽の中心地である。「韓紙」「合竹扇」などの伝統工芸品のほか、国際映画祭・スポーツ大会などを通じ、国際都市としての発展を目指している。

## バッファロー市 (アメリカ合衆国)

Buffalo, the United States of America

提携 1962年(昭和37年)

人口 26万人

面積 105 km<sup>2</sup>



五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25 kmの所にある。

## 蘇州市 (中華人民共和国)

Suzhou, the People's Republic of China

提携 1981年(昭和56年)

人口 210万人

面積 1650 km<sup>2</sup>



約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で、「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げている。

## ポルト・アレグレ市 (ブラジル連邦共和国)

Porto Alegre, the Federative Republic of Brazil

提携 1967年(昭和42年)

人口 144万人

面積 497 km<sup>2</sup>



ブラジル南部最大の都市で、リオグランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオデジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしていて、グワイバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

# 姉妹都市交流委員会の交流事業

## バッファロー市との交流事業

### 金沢市民芸術村ジュニア・ジャズ・オーケストラ JAZZ-21 バッファロー市派遣

2006年7月31日から8月7日まで、今川実金沢市副収入役を団長とする金沢市民芸術村ジュニア・ジャズ・オーケストラ JAZZ-21 合計22名が、バッファロー市を訪問しました。これは、2005年6月に本市を訪問した、ハンブルグ高校ジャズバンド団から返礼としての招待を受けたため、音楽を通じた友好親善を目的として派遣することになったものです。

到着の翌日には、バッファロー市のバイロン・W・ブラウン市長を表敬訪問、続いて市庁舎内のロビーで演奏を披露しました。

今回の訪問のメインイベントである野外コミュニティコンサートでは、ハンブルグの中心部にある記念公園において、大勢の市民の前で演奏を行い、観衆からの熱いスタンディングオベーションに、団員一同、大変感激しました。

団員は、滞在中、ホームステイを通して、アメリカの家庭生活を体験したほか、ナイアガラの滝や日本庭園、オルブライト・ノックス美術館などを視察し、姉妹都市に対する理解を深めました。

### バッファロー・フィルハーモニック 交響楽団音楽監督 来沢

2006年6月28日から7月3日まで、バッファロー・フィルハーモニック交響楽団音楽監督 ジョアン・ファレッタ氏が本市を訪問し、石川県立音楽堂で開催された「第19回県教弘 クラシックコンサート」でオーケストラ・アンサンブル金沢との共演を果たしました。ファレッタ氏は、現在、バッファロー・フィルハーモニック、バージニア両交響楽団の音楽監督を務めるほか、多くの名門交響楽団に客演指揮者として招待されるなど、国際的に活躍しています。コンサートでは、モーツァルトの「交響曲第39番」を含む計3曲を指揮し、拍手喝采を浴びました。

また、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長および姉妹都市代表市民も併せて訪問し、湯涌小学校・芝原中学校訪問、兼六園や21世紀美術館を視察するなど、友好親善を深めました。



## イルクーツク市との交流事業

### 胸一杯の思い出！金沢市中学生親善団訪問 －イルクーツク市の夏－

2006年7月29日から8月5日まで、宮本健一金沢市消防局長を団長とする中学生親善団20名が、イルクーツク市を訪問しました。出発日は、イルクーツク空港の天候不良のため、新潟空港から約三時間遅れで出発するというハプニングはありましたが、団員は、ホームステイや交流会等を通じて新しい友人を作ったほか、市内や世界遺産であるバイカル湖の見学なども行い、姉妹都市に関する理解を深めるとともに、たくさん思い出を持って金沢市へ戻りました。主な日程は次のとおりです。



- 7/29 出発
- 7/30-31 ホームステイ・ホスト家庭との交流会
- 8/1 市内視察・イルクーツク市長表敬訪問
- 8/2 バイカル湖方面視察
- 8/3 バイカル生態学センターキャンプ場訪問  
(青少年交流)
- 8/4 ホスト家庭との交流会
- 8/5 帰国

### イルクーツク市新体操選手団来沢

2007年2月4日に開催された「新体操ウインターフェスタ in KANAZAWA」に参加するため、2月1日から2月5日の日程で、オリガ・パラヒナ イルクーツク市経済財政関係建設委員会価格形成課長を団長とするイルクーツク市新体操選手団一行7名が来沢しました。一行は、演技会参加のほか、菊川町小学校へも訪問し、児童たちとの交流を深めるとともに、兼六園などの市内視察も行いました。

なお、一行は、当初1月31日のウラジオストク-富山便で来沢する予定でしたが、当日はウラジオストクの天候不良でフライトがキャンセルとなりました。翌日、飛行機は飛んだものの、到着地が富山空港から新潟空港へ変更となったため、金沢市への到着は、2月1日の23時過ぎとなってしまい、滞在日程は約一日半短縮されたものになりました。

### お悔やみ

元金沢アメリカ文化センター館長口バート・フラーシャム氏が2006年11月23日に逝去されました。フラーシャム氏は、幼少の頃、バッファロー市に在住していた縁もあり、本市とバッファロー市との姉妹都市提携に向け、多大なご尽力をされ、2002年金沢市特別名誉市民証を授与されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

## ポルト・アレグレ市との交流事業

### 金沢市代表団リオ・グランデ・ド・スル州 日本人移住 50 周年記念式典参加

2006年8月16日から8月23日にかけて、近藤義昭金沢市収入役ほか1名がリオ・グランデ・ド・スル州（ポルトアレグレ市の州都）への日本人移住50周年記念式典に参加するため、ブラジルを訪問しました。

ポルトアレグレ市からバスで5時間の所にあるリオ・グランデ市ペスカドーレス広場で行われた18日の記念式典では、州や市の関係者、日本政府代表、同州と姉妹提携を結んでいる滋賀県の代表団など約200名が臨席する中、金沢市長の祝辞を代読し、長い移民の歴史の節目を共に祝いました。

翌日にポルトアレグレ市のガゾメトロ文化会館で開催された記念祭では、ブラジル各地から日系人が集まり、盆踊りやカラオケ、武道などのパフォーマンスを繰り広げるとともに、生け花や鯉のぼりなど日本情緒豊かな展示も行われ、会場は終始賑わっていました。

また、21日には、ジョゼ・フォガサポルトアレグレ市長を表敬訪問し、姉妹都市提携40周年を迎える2007年に向けた更なる友好交流を固く誓い合いました。



## ナンシー市との交流事業

### アートな交換留学

1973年の姉妹都市提携以来続いている、ナンシー市と金沢市の留学生交換事業。

石山雅聖さん（金沢美術工芸大学在籍）は、17人目の金沢市からの留学生として、2005年の10月から2006年の8月までの約1年間、ナンシー国立高等美術学校で学びました。

ヨーロッパでも廃れつつある油彩の技術をはじめとして、美術を通し貴重な経験を得た石山さん。帰国報告では、ナンシーで制作した作品を持参し、目を輝かせて、山出市長に成果を報告していました。

また、2006年10月からは、ナンシー市からの留学生、ナタリー・ユザンさん（ナンシー国立高等美術学校修士課程在籍）が金沢美術工芸大学での留学を始めました。

ナンシー市から17人目の留学生となるユザンさんは、貴重な日本滞在を生かし、多くを吸収したいと意欲をみせています。美大生との協同プロジェクトにも積極的に参加し、精力的に創作活動に励んでいます。



## アントワープ市との交流事業

### 祝・姉妹都市提携 35 周年！！

4月28日から5月2日にかけて、カテリーナ・セーガス助役をはじめとするアントワープ市代表団が来沢。姉妹都市提携35周年を記念し、アントワープ市を象徴する「聖なる少女」の石製レリーフが寄贈され、28日、金沢21世紀美術館にて、贈呈式が執り行われました。

翌日からは、同美術館にて、アントワープ現代美術館のコレクション展「人間は自由なんだから」が開幕し、代表団はオープニングレセプションに参加したほか、山出市長との懇談や、アントワープ1郵便局と姉妹提携をしている金沢中央郵便局訪問などを実施しました。

一方、12月5日から12月8日には、藤崎強技監を団長とする5名の金沢市代表団がアントワープ市を訪問し、6日、アントワープ市役所において開催された姉妹都市提携35周年記念式典に参加。提携35周年を記念して、金沢市からアントワープ市に寄贈される「ことじ灯籠」（複製）の目録を、藤崎団長からベーク市長へ直接手渡しました。

滞在中には、市内や交通システムの視察等を行うとともに、ベーク市長らとの懇談も行いました。

なお、一行は、これに先立ち、11月29日～12月4日にかけて、新交通システムの先進地であるエッセン市、フライブルグ市、ストラスブール市およびナンシー市を訪れ、視察を行いました。



## 蘇州市との交流事業

### 祝・姉妹都市提携 25 周年！！

2006年4月10日、両市の姉妹都市提携25周年を記念して、王栄中国共産党蘇州市委員会書記、周偉強蘇州市副市長をはじめとする21名の蘇州市代表団が、本市を訪問しました。

市庁舎前では、蘇州市が特別に鑄造した実物大の「蘇州寒山寺梵鐘」複製品の除幕式が盛大に執り行われ、両市の末永い友情を祈念しました。また同時に、中国伝統の五穀豊穡を願う「龍の舞」に使う、長さ15mのシルク製「長龍（龍灯）」も寄贈されました。

その後、王書記と山出市長との間で、両市に共通する「伝統文化芸術の保存発展」と「青少年交流」の継続発展を柱とした「両市の今後10年間の友好交流合意書」が交わされました。

同日夜の市民歓迎レセプションでは、多くの市民とともに、提携25周年の記念の年を和やかに祝い、翌日、有意義な成果を胸に、蘇州市へと帰国しました。

また、2007年3月16日から18日には、王潔文蘇州市金閘区海外聯誼会会長を団長とする5名の蘇州市代表団が来沢し、金沢市長への表敬訪問や市内視察等を精力的にこなしました。

全州市との交流事業

全州市の新たな文化の取り組みに協力

2006年11月15日から18日まで、高彦其全州市伝統文化局伝統文化振興課長を団長とする全州市文化視察団4名が来沢しました。

一行は、本市の文化施策を参考とする目的で訪問し、文化施策担当各課からの講義や各文化施設への視察を精力的にこなしました。また、2007年3月26日から28日まで、全州市選出の韓国の国会議員である李光喆議員・国会文化観光委員会委員、李康安全州市伝統文化局長を含む4名の視察団が来沢し、本市の文化施策を熱心に学んでいけました。

全州市伝統工芸品展示会の開催

2006年7月17日から19日まで、李相七(社)韓紙文化振興院理事長(前・全州市長)を団長に、全州市の伝統工芸品である韓紙の工芸作家9名を含む総勢16名が来沢。18日から25日の会期で、金沢市文化ホールにおいて「第5回金沢市・全州市姉妹都市交流韓紙工芸作家招待展」が開催され、多くの市民が訪れました。

また、10月13日から18日まで、全州芸術大学の車宗順教授をはじめとする教師5名と学生11名、李相七(社)韓紙文化振興院理事長にKBS全州放送局の取材クルー2名を含む総勢19名が来沢し、15・16日の両日、泉野図書館にて、金沢美術工芸大学生の作品と共に、国際交流展示会「和紙・韓紙 Art&Craft」を開催しました。16日には、市立安江金箔工芸館にて金箔体験、17日には、金沢美大にて「韓紙・金箔セミナー」に参加、伝統工芸や芸術に関する意見交換を行い、交流を深めました。

トピックス

гент市&全州市 新市長の誕生

このたび、гент市と全州市に新しい市長が誕生しました。гент市は、1995年より市長を務めたフランク・ベーク市長にかわり、2006年12月、ダニエル・テルモン氏が就任しました。全州市は、2002年の姉妹都市提携時から市長であった金完柱前市長の後を継ぎ、2006年7月、宋河珍氏が新しく市長に就任しました。今後、両市長の下、更なる姉妹都市交流の発展が期待されます。

ライフ&ファッション 金沢ウィーク

10月10日から22日まで、金沢21世紀美術館を中心に、「ライフ&ファッション金沢ウィークかなざわごのみ2006」が開催され、10日の開催記念レセプションおよび11日の総合開会式、ならびに姉妹都市代表団の市民歓迎レセプションに出席するために、姉妹都市のポルトアレグレ市、ナンシー市、蘇州市、全州市の代表団が金沢市を訪れ、本市の新たな取り組みの船出を祝いました。

各市の代表団は、式典後、コレクション展示などのウィークの行事を興味深く観覧し、21世紀美術館内の茶室「松涛庵」で茶会を楽しみました。また、ナンシー市は市内のファッション関係者と懇談、ポルトアレグレ市は市内のファッション関係企業を訪問、全州市は代表団のほかに芸苑芸術大学の学生が金沢美術工芸大学と紙を通じた交流を深めるなど、ファッションを通じたつながりを深めました。

一方、中国におけるファッションの先進地でもある大連市からも代表団が訪れ、式典に華を添えました。



総合開会式にご列席の皆さま

●ナンシー市

- アンドレ・ロッシーノ
- クラウディーヌ・ギダ
- シャルル・ショーヌ
- グザヴィエ・バルトラン
- ヴェレナ・ダンリ
- サンドリーヌ・デムラン
- ニコラ・ルグリーニ
- ジャン・ピエール・カロルス
- ジャン・ルイ・アントワヌ

- ナンシー市長
- ナンシー市第一助役
- ナンシー市広域行政圏統括責任者
- ナンシー市市長閣議室室長
- ナンシー市姉妹都市・ヨーロッパ担当者
- ナンシー市広域行政圏閣議室室長
- 都市圏開発機構経済局長
- ムルト・エ・モゼール県商工会議所会頭
- レスト・レピュブリカン紙編集長

●全州市

- 宋河珍
- 呉京真
- 韓俊洙
- 宋昌飛
- 朴定善
- 徐培源
- 潘賢娥

- 全州市長
- 全州市長令夫人
- 全州市伝統文化局長
- 全州市市長秘書
- 全州市都市局都市計画課
- 全州市企画予算課
- 全州市企画予算課

●ポルト・アレグレ市

- カミラ・ビゾウ・ブルン

- 広告・マーケティング大学
- ファッションデザイナー大学院教授

●蘇州市

- 胡韻蓀
- 商惠榮
- 劉亞非
- 潘燕亮
- 饒春虎
- 朱聖才

- 蘇州市文学芸術界連合会副主席
- 蘇州市人民政府弁公室副主任
- 蘇州市行政服務センター副主任
- 蘇州市政法委員会処長
- 蘇州市人民政府弁公室二処処長
- 蘇州市外事弁公室友好城市処処長

●大連市

- 趙亞平
- 劉文健
- 楊坤
- 劉愛君

- 大連大学校務委員会主任(元・大連大学長)
- 大連市教育局長
- 大連市外事弁公室副処調研員
- 大連大学日本語語言文化学院副教授

# 国際交流員のページ

## ケイティ・ラブグローブ

(アメリカ)

国際交流員としての任期を終える日が近づいています。金沢に来て、あっという間の3年でしたが、様々な業務に携わり、多くの素晴らしい方々と出会い、一期一会の縁に感謝しています。

交流員の仕事には普段経験できないことがとても多く、本当に恵まれていました。例えば、約500人が参加したシンポジウムの歓迎会で英語のMCを担当したこと、姉妹都市・バッファロー市の高校生ジャズバンド団に随行し百万石行列と一緒に参加したこと、姉妹都市の著名なピアニストや指揮者の方のアテンドなど、交流員としての仕事を通し、短い間に親交を深めることができました。テレビやラジオにも数多く出演し、母国の文化や精神について紹介ができ、大変嬉しく思っています。

最近、教えていただいた言葉に「萬福無極」という言葉があります。これは、「限りなく多くの幸福」という意味ですが、このような人生を歩むことができるようにこれからも精一杯頑張っていきたいと思えます。皆さんの「萬福無極」も願っております。

この3年間の思い出は私の宝物です。皆さん、本当にありがとうございました。



## ソフィー・ボックラント

(ベルギー)

ダグ・イーデレーン！！(オランダ語で「皆さん、こんにちは」)

はじめまして！ベルギーのアントワープ市から来た、ソフィーです。2006年8月から金沢市役所で国際交流員として働いています。アントワープ市は金沢市の姉妹都市なので、両都市のコミュニケーションを手伝うことができ、とても面白いです。母国語はオランダ語ですが、言語に興味があるので、中学・高校で英語とフランス語を勉強、大学では日本語を専攻しました。翻訳以外にも、料理講座や学校訪問などでベルギーの文化・芸術・歴史を紹介しています。

私は歩くことが大好きで、毎日市役所まで歩いて行きます。金沢は、用水が多く、雰囲気もロマンチックで、私の住んでいたアントワープ市に似ていると思います。ですが、金沢で一番好きなのは家の近くの犀川です。ベルギーには山が全然ないので、犀川の背景に山が見えるのは素晴らしいです。日本の自然は、秋の紅葉、冬の嵐など、私にとって本当に印象的なものばかりです。今は、兼六園の桜がとても待ち遠しいです！

これから、どうぞ宜しくお願いします。

## キム スギョン 金 秀璟

(韓国)

アンニョンハセヨ。去年、桜が満開だった4月に金沢での生活を始め、また新しい春を迎えようとしています。色々なことがありましたが、憧れていた一人暮らしを始め、国際交流員という仕事で楽しくでき、とても充実した1年を送れたと思います。

姉妹都市である全州市との交流事業や韓国から来た人のために通訳・翻訳をすること、そして韓国のことを紹介する講座などを実施することが私の仕事です。仕事を通して、課の皆さんや他の国際交流員とのコミュニケーションはもちろん、それぞれの国の文化などに触れることができ非常に勉強になりました。

韓国では家族と一緒に暮らしていたために、自分で料理をすることはほとんどありませんでした。ところが、金沢へ来て料理をすることの楽しみが分かってきて、レシピのノートを書いたり、料理の番組を見たりするようになりました。今は金沢の代表的な料理である「治部煮」を覚えたいと思っています。

韓国の諺で「袖だけ触れても因縁あり」という言葉がありますが、金沢で生活しながら出会った人との縁を大切にしていきたいと思っています。今年、韓国では、600年に一度訪れる黄金の豚年だそうです。皆さんにも幸運がありますように…。

カムサハムニダ。

## やぶさすずき 矢吹鈴木 メリッサ

(ブラジル)

去年の4月から新しく国際交流員になりました、ブラジル出身の矢吹鈴木メリッサです。皆さんには、二つの名字があることをよく聞かれますが、ラテンの国では両親の名字を子どもの名前に入れるのは普通です。その上、ブラジルでは入れる名字の数は決められていません。

私は日系ブラジル人として、小さい時から二つの文化に育てられました。看護師として大学を卒業しましたが、いつも二つの文化と言葉を持っていることを活かしたいと思っていたので、国際交流員として日本で仕事ができ、本当に嬉しく、そしてありがたく思っています。

市役所では、主に資料の翻訳や学校訪問、ブラジル紹介講座などを実施しています。また、金沢市は、ブラジルのポルトアレグレ市と姉妹都市提携を結んでいるため、両市のコミュニケーションの手助けもしています。今後は、ポルトアレグレ市と金沢市にととまらず、ブラジルと日本の掛け橋になりたいと願っています。これからも頑張って日本の文化や歴史を勉強し、また、ブラジルの色々な側面を皆さんに紹介していきたいので、どうぞ宜しくお願いします。



第33号(2006年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際文化課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail : bunshin@city.kanazawa.ishikawa.jp